

平成 22 年 7 月 20 日
会 14-資料 07

白山台中学校の通学区域設定の経緯

○通学区域審議会

諮問：平成 16 年 9 月 6 日
答申：平成 16 年 12 月 20 日
会長：工藤義隆氏

○通学区域審議会に特別委員を出した町内

白山台 6 町内（東西南北、中央、県営）、笹子、南田面木、中田面木、南鹿島

○関係学校（打合せ等に参加）

白山台小、田面木小、関南小、根城小、江南小、根城中、長者中

○教育委員会の最初のスタンス

- ・基本的には白山台 6 町内（東西南北、中央、県営）で中学校区。
- ・周辺町内については、町内の意見がまとまった場合に限り、新設校へ通学して頂く。

○町内毎の選択状況等

町内	選択	意向
白山台 6 町内	白山台中	全会一致で白山台中を希望。
南田面木	白山台中	全会一致で白山台中を希望。 すべての班が白山台中を希望。
中田面木	根城中	当初意見が二分したが、最終的に公平を期すために保護者アンケートを実施した結果、18 対 10 従来ので根城中が多く、全体としては従来 of 根城中を希望。
南鹿島	根城中	全会一致で従来 of 根城中を希望。 町内の回覧板で希望を聞いても、白山台中を希望する回答はゼロだった。 ※平成 18 年 10 月 31 日、町内会から、同町内 19 班についてのみ白山台小学校への学区外（距離的理由）を申請。
笹子	長者中	90%以上は今までどおり関南小・長者中に通学したいとのことなので、全体としては長者中を希望する。 ※ただし今（H16 当時）白山台小に通っている児童 1 人については個人の意向を尊重したい。